

# 『広島県病院事業経営計画（平成21年度～25年度）』の取組状況に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書

## 【平成25年度の評価】

平成26年12月17日  
広島県病院経営外部評価委員会  
委員長 谷田 一久

### 1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は5年目になります。本委員会は行政、医学教育、公立病院経営等に精通した各分野の専門家を委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成25年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（8月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

### 2 評価結果の総括

「第4次経営計画」の最終年度に当たる平成25年度は、経営計画の達成に向けて、多くの取組を実施しており、その結果、広島県病院事業局全体としての計画の達成状況は概ね順調に推移しました。

広島病院は、重点分野として定めた、がん医療、救急医療、成育医療を中心とした医療機能の強化をはじめ、県のドクターヘリ事業への協力などの政策医療にも積極的に取り組んでいます。臨床研究などの面においても、県全体の医療水準の向上を念頭に、現在の取組をより一層充実させていきたいと考えます。

また、「KB ネット」の活用による電子カルテ情報の共有など、地域の医療機関との分担・連携による効率的な医療提供体制の確立にも取り組んでおり、県の基幹的急性期病院としての使命・役割を果たしていることを高く評価しました。将来的には、県全域をカバーする「HM ネット」への接続を期待しています。

安芸津病院は、「地域の健康寿命の延伸」をキーワードに、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組を進めているところであり、その取組の成果が着実に実を結ぶことを期待します。

経営面においては、「第4次経営計画」を着実に実行した結果、病院事業全体の経常利益は3億8,700万円余で、平成24年度と比較して6,100万円余の改善となっており、平成22年度から4年連続の黒字を達成しています。

今後、都道府県による「地域医療ビジョン」の策定や地域包括ケアシステムの構築など、医療提供体制の抜本的な変革が図られようとする中においても、医療機能の強化と経営の健全化に努められ、県立病院としての使命を果たされることを期待します。

### 3 評価結果

#### （1）評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成25年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①-1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 25 年度は 12 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度より 7 項目減少し、4 項目となりました。

救急医療・がん医療などの医療機能の強化については、手術室の増設や CCU の 4 床増加などにより患者の受け入れ態勢を強化するとともに、県のドクターヘリ事業の運用に協力するなど、積極的に取り組んでいます。

経営の効率化のうち費用合理化対策については、使用された材料の収益への反映状況や、不良在庫等による毀損の発生の把握など、監督方法に課題があることから、評価を（○）としました。

昨年度と比較して（◎）と評価する項目が減少していますが、これは広島県のリーディングホスピタルとしての機能、役割を考慮して、高い水準での評価を行った結果です。

目標指標 11 項目のうち 8 項目を達成するとともに、5 年連続の経常黒字を計上するなど、自治体病院として公共性と経済性をしっかり両立させていることを高く評価しますが、さらに高いレベルでの取組と発展に期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25 ( )は H24
評価結果『◎』とした項目	4 項目 (11)
評価結果『○』とした項目	8 項目 (1)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (0)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	12 項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ( )は H24	
<b>1 政策医療機能</b>				
1	救急機能の強化	○	◎(◎)	
2	周産期医療提供体制の強化	○	◎(◎)	
3	がん診療機能の強化	◎	◎(◎)	
4	医療の安全と質の向上	◎	◎(◎)	
<b>2 医療人材の育成・派遣機能</b>				
5	人材の確保・教育・派遣	○	◎(◎)	
<b>3 患者サービスの向上と経営の効率化</b>				
6	患者サービスの向上	◎	◎(◎)	
7	経営の 効率化	増収対策	◎	◎(◎)
8		費用合理化対策	○	◎(◎)
9		経営機能の強化	○	◎(◎)
<b>4 連携強化</b>				
10	地域連携状況等	◎	◎(◎)	
11	(2 病院) 協力状況	○	◎(○)	
<b>5 決算、目標指標</b>				
12	収支改善、目標指標	◎	◎(◎)	
総合評価			◎(◎)	

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成 25 年度は 10 項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、昨年度より 2 項目減少し、2 項目となりました。

小児医療や二次救急医療機能を維持しつつ、「地域の健康寿命の延伸」をキーワードに、地域住民の健康づくり、在宅医療支援などに取り組んでおり、目標指標の達成状況は、未達成の項目が多いものの、「第 4 次経営計画」策定時と比較すると概ね改善傾向にあります。

今後は地域包括ケアへの取組を強化し、介護・福祉・行政等との連携ネットワークの中核的病院として、島嶼部を含めた沿岸部におけるモデル的取組を実践されることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25 ( )は H24
評価結果『◎』とした項目	2 項目 (4)
評価結果『○』とした項目	8 項目 (5)
評価結果『△』とした項目	0 項目 (1)
評価結果『×』とした項目	0 項目 (0)
合計	10 項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ( )は H24	
<b>1 政策医療機能</b>				
1	地域と一体となった医療の提供	◎	◎(◎)	
2	政策医療の実施	○	○(◎)	
3	医療の安全と質の向上	○	○(○)	
<b>2 医療人材の育成・派遣機能</b>				
4	人材の確保・教育・派遣	◎	◎(◎)	
<b>3 患者サービスの向上と経営の効率化</b>				
5	患者サービスの向上	◎	○(◎)	
6	経営の 効率化	増収対策	○	○(○)
7		費用合理化対策	○	○(○)
8		経営機能の強化	○	○(○)
<b>4 連携強化</b>				
9	(2 病院) 協力状況	○	○(○)	
<b>5 決算、目標指標</b>				
10	収支改善、目標指標	△	○(△)	
総合評価			○(○)	

## 広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区 分	氏 名	備 考（職名等）
委員長	谷田 一久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	河野 修興	広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(一社)広島県医師会副会長
委員	平谷 優子	弁護士
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー (公認会計士)

## 広島県病院経営外部評価委員会 平成 26 年度議事一覧

○第 1 回 [平成 26 年 8 月 1 日 (金) 於 : 広島県庁]

- (1) 外部評価委員会の進め方について
- (2) 経営計画の取組状況

○第 2 回 [平成 26 年 11 月 11 日 (火) 於 : 広島県庁]

- (1) 経営計画の取組状況 (平成 25 年度) の評価取りまとめについて
- (2) 平成 26 年度上半期の取組状況について
- (3) 課題・必要な取組の意見等について